

## 巻頭言

## 本号の概略と今後の情報メディアセンター

渡部 和雄



2000年4月に創刊した「情報メディアセンタージャーナル」はその後毎年4月に刊行され、本号は第11号となる。主に情報メディア、情報通信技術関連の先進的論文や解説記事、実施報告、最新トピックスなどを掲載し、この分野の研究の推進と実用化に貢献してきた。この間、情報エコロジー、情報メディア利用、サイバーキャンパス、情報リテラシー教育、情報デザインなど、時代の先端を行くテーマが特集として取り上げられてきた。本号は特集論文15本（関連した学生報告を含む）と一般論文13本、実施報告1本を掲載している。

本号の特集は文部科学省による高等教育活性化のための現代的教育ニーズ取組支援プログラム（現代GP）」（GPとはGood Practice）に選ばれた「ICTによるニュータウンの街作り拠点構築」プロジェクト（ICTとは情報通信技術）に関連した15本の論文からなる。本プロジェクトは2007年10月から2009年度末までの2年半にわたり実施されて来たもので、その締め括りとしてここに成果をまとめた。最初の論文「ICTによるニュータウンの街作り拠点構築」はその概略と主な成果を記したものである。本プロジェクトは学生にも机上だけではなく、フィールドワークを含めた実践的な学習、研究の場を提供してきた。これにより、情報共有のための多くのWebシステムが開発、提供され、また行政や多くの地域住民の関心を呼び、活動への参加を得るといった成果が上がっている。本プロジェクトは多くの教員、学生、地域の専門家や市民の参加を得ている。特集の2本目以降は教員の指導の下に、主に学生が精力的に取り組んだ研究の報告が主体となっている。興味深いものが多いので、ご一読いただければ幸いである。

一般論文はあえて私なりに分類すれば、情報関係、環境情報関係、メディア・コミュニケーション関係からなる。内容は多彩で、情報通信技術、eラーニングなどの教育、環境の可視化、経営情報、心理、異文化などが論じられている。今回は実施報告として事務局からもWebを利用した成績入力システムについて投稿していただいた。いずれも力作であり、読者のご関心によりご一読をお願いしたい。

ところで、情報メディアセンターは本学横浜キャンパスの情報処理、情報ネットワークおよび図書館の計画、運営に携わる組織である。これまで、キャンパスの情報環境の整備、IT活用のためのサイバーキャンパス事業、遠隔授業の充実などに力を注いできた。2010年8月には教育研究環境の一層の向上を目指した大規模なシステム更新時期を迎える。次期システムの特徴は1)先進情報環境の維持・安定運用、2)管理・運用コストの削減、3)環境影響への配慮である。そのため、各種サーバやパソコンなどのハードウェアやソフトウェアを最新のものにするだけでなく、セキュリティや環境保護にも最大限の配慮をしている。このようなキャンパス内情報ネットワークシステムの高度化により、情報の蓄積や交換の効率が向上し、学生や教職員にとって必要な情報の検索、提供が容易になり、教育・研究活動の高度な支援が可能となる。

今後も発展を続け、本学の学生と教職員により良い情報サービスを提供し続ける情報メディアセンターに一層のご理解とご協力をお願いしたい。